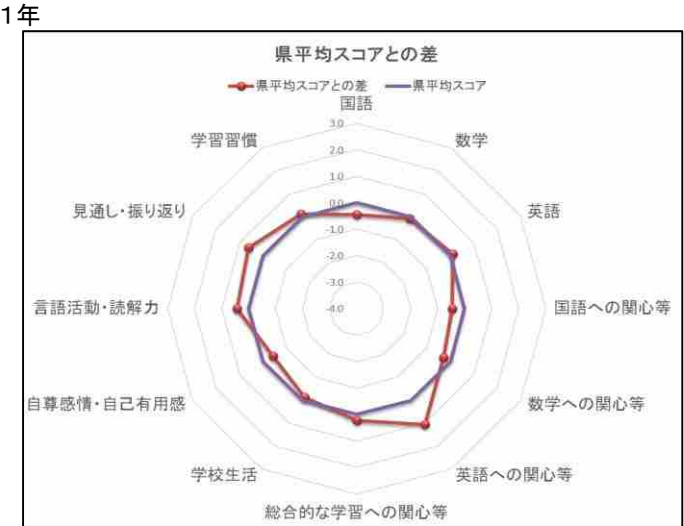


平成30年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立島根中学校)

(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
1年	国語	○自分の考えや根拠を明確にして意見を書くことができる。 ●漢字や文法など基礎的な知識の定着が不十分である。 ●集めた情報を総合し、構成を考えて自分の考えを伝えることに課題がある。	○家庭学習課題として漢字練習を継続して行う。 ○単元ごとに構成を意識した文章の読み取りや作文を実施する。
	数学	○基礎的な計算問題や方程式を解くことができる。 ●理解したことを自分の言葉で説明することに課題がある。	○授業内で問題演習をする時間を確保する。 ○計算過程を説明するなど簡単などところから行っていき、説明をすることへの抵抗感をなくす。
	英語	○英語への関心意欲が高い。 ○リスニング問題で対話や長文を聞き取り、理解する力が高い。 ●伝えたいことについてまとまった内容で英文を書くことに課題がある。	○引き続き、ICTの活用やグループ学習を取り入れ、生徒の意欲を高める授業づくりを行う。 ○与えられたテーマについて、短文で自分の考えを書く課題を増やす。
2年	国語	○漢字と文法、話すこと、聞くことについての基礎的な知識が定着している。 ●文章の構成や前後の関係を読み取り、条件に即した作文を書くことに課題がある。 ●記述式の問題の無解答率が高い。	○構成を意識した文章の読み取りや作文を単元ごとに実施する。
	数学	○問題の意味を理解し、グラフや方程式を活用して答えを求めることができる。 ●グラフをもとに判断し、その根拠を分かりやすく表現することに課題がある。	○複雑な計算も正確にできるよう練習する時間を確保する。 ○自分で判断し、その根拠を説明する機会を設け、数学のよさを味わわせるようにする。
	英語	○英語への関心意欲が高い。 ○聞く力(リスニング)、読む力(リーディング)、話す力(スピーキング)が高い。 ●自分のことについて英文を書く力に課題がある。	○引き続き、ICTの活用やグループ学習を取り入れ、生徒の意欲を高める授業づくりを行う。 ○テーマについて、ある程度まとまった文で自分の考えを書く課題を増やす。

(2) 各学年・各教科の調査結果チャート

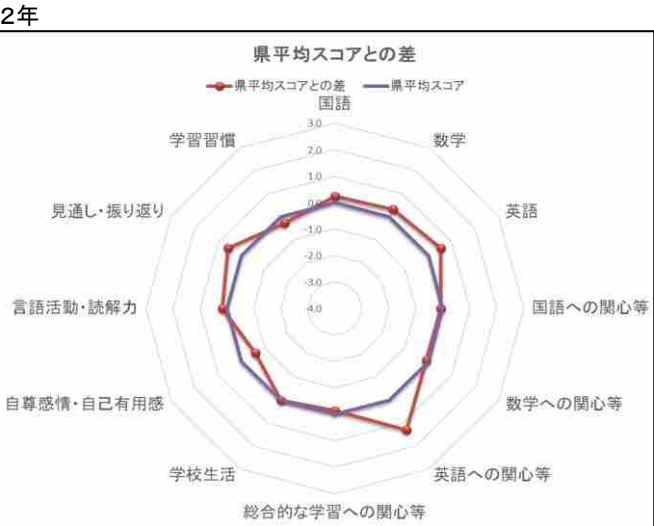


(参考) 平均正答率

		国語	数学	英語
1年生	本校	59	37	66
	松江市	68	41	65
	島根県	67	38	64

受検者数
1年生 25 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。
スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。



(参考) 平均正答率

		国語	数学	英語
2年生	本校	70	48	67
	松江市	67	43	58
	島根県	65	40	57

受検者数
2年生 25 人

(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

平成31年2月15日

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
1年	授業改善に関わる事項	○授業で自分の考えを発表する場の設定と話し合い活動の取組 ○図書館を使った授業への関心 ●将来の夢や目標を持っている生徒の割合 ●地域・社会問題への関心	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れたわかりやすい授業づくり ○キャリア教育の充実
	家庭学習に関わる事項	○家庭学習時間の確保(1日1h以上) ○教師への信頼(先生は宿題を丁寧にみている) ●自分で計画を立てて勉強したり、復習をしたりする生徒の割合が低い。	○自主学習を推進し、家庭学習の充実を図る。 ○キャリア教育と絡め、「こうしたい」「こうなりたい」といった目標や見通しを持った学習の推進
2年	授業改善に関わる事項	○授業でグループでの調べ学習の場の設定と話し合い活動の取組 ○地域行事への参加 ●将来の夢や目標をもっている ●地域・社会の問題への関心	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れたわかりやすい授業づくり ○キャリア教育の充実
	家庭学習に関わる事項	○教師への信頼(宿題を丁寧にみている) ●1日1時間以上家庭学習をしている生徒、自分で計画を立てて勉強している生徒の割合が低い。	○学習習慣をつけるための小テストの充実(小中連携、家庭との連携) ○キャリア教育と絡め、「こうしたい」「こうなりたい」といった目標や見通しを持った学習の推進

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果

